今年度、青山地区自治会連合会が進めてきた改革

～役員の負担を減らし、よりクリーンで開かれた自治会へ～

住みよい青山地区のために

今年度、青山地区自治会連合会では、これまでの運営方法を見直し、次のような改善を進めできました。

1 お金の使い道を分かりやすく

自治会連合会の収支について、各丁目会長への報告・相談を大切にし、透明性のある会計運営を進めています。



2 防犯パトロールの負担を軽減

防犯パトロールは、各丁目会長と防犯連絡委員（生活安全推進委員）を中心に実施する体制とし、一般役員の参加負担をなくしました。



3 行事の準備を簡素化

夏まつりなどのテント設営や準備方法を見直し、必要な動員人数を減らすことで、役員の負担軽減を進めています。



4 各委員会の活動を見直し

住民協定委員会や保健衛生推進協議会などの組織・役割を整理し、実際に活動できる体制づくりを進めています。



5 地域のまちづくりに自治会の声を反映

まちづくり協議会（まち協）の一員として、自治会の立場から積極的に意見を伝え、地域づくりに参加しています。



6 各丁目が相談・協力できる連合会へ

連合会の定例会などで、各丁目会長が自由に意見を交換し、課題を相談・共有できる運営を進めています。



「これまでどおり」ではなく、「今の暮らしに合った自治会」へ。

これからも、必要な活動は大切にしながら、無理や無駄を減らし、よりよい自治会を目指していきます。変えるべきところは変えていきます。